令和6年度 第1回学校運営協議会（議事録）

日時：令和6年6月1日（土）10:00～12:00

会場：下田高等学校 応接室

【参加者】委員（稲岡・土屋・山梨・中村）

校長・飯田事務長

本校（加藤副校長・石代）・定時（吉野教頭）・分校（外岡副校長・芝原教頭）

次 第

1 校長挨拶

・学校の様子（理数科の入学者の大幅減による広報活動の重要性、部活動男子軟庭個人で全国）

・学校運営協議会制度について

学校運営への意見をもらい、学校経営計画の承認をしてもらう

今年度は第3回開催時に7年度の方針に関して承認を得ることとする

2 自己紹介

・参加者各自で自己紹介を行った

3 任命状交付

・校長から任命状を委員の方々に手渡した。委員1名は任命状が到着次第渡すこととする。

4 6年度会長・副会長の選出

・互選による選出であるが、委員から会長の立候補があり承認された。副会長は、会長から推薦があり、その委員が承認された。

【議事】

5 本年度の学校経営計画について

・それぞれ、学校要覧の学校経営計画をもとに説明をした。

(1) 全日制

・重点目標として、「グローバルで活躍できる人材の育成」「主体的・能動的に学ぶ力の育成」

今年度は特別支援教育、人権教育の推進を新たに入れる。

(2) 定時制

・新たに加えた具現化の柱は「進路的安全性に配慮した授業実践」「特別支援教育・人権教育の推進」。重点項目としては「自立心を持った生徒を育てる」「個に応じた丁寧な進路指導」。

探究にも力を入れる予定。

(3) 南伊豆分校

・重点目標は「基本的生活習慣を確立させ・・・」「地域の特性を生かし、・・・」。

(4) 質疑応答

・特になし

6 学校概況について

(1) 全日制

・若手教員の力が発揮されている。生徒主体で様々な活動ができている。海外での交流体験が充実している。進路実績では、年内入試を活用し、個別指導にも力を入れている。部活動では、文化部も校外の活動に積極的に参加するようになっている。

(2) 定時制

・在籍 20 名で、年々増えている状況。中学時代に不登校を経験した生徒が多いが、出席状況は良い。寄り添う指導から自立に向けた指導にシフトしていく。SNS で日常生活の発信を心がける。

(3) 南伊豆分校

・全校生徒 61 名で、ここ数年で 1 番多い生徒数であり活気もある。カーネーションの無農薬栽培では県の承認も得られている。農業を活用した交流をすすめていきたい。

(4) 質疑応答

・特になし

7 意見交換

- ・国際交流の重要性。世界を知る大切さ。少子化は今後の対策が必要である。
- ・生きていける子を育てる。挨拶ができる子にしてほしい。特別支援の生徒との交流受け入れが法人会から依頼があるが受け入れ先が少ないのが課題。高校生を地区の高齢者のスマホ利用講座などで講師として活用したらどうか。
- ・いろいろな経験から学ぶことが多くある。一人一人の生徒の命を大切にしたい教育活動を継続してほしい。
- ・若年者の人口減が切実な問題。賀茂 4 校のサテライト化がどのようになるのか。
- ・地域の連携が強み。情報発信で魅力を伝える。
- ・施設の老朽化だけでなく設備面でも老朽化が目立つ。分校では実習施設も例外ではなく深刻である。
- ・保育園での実習も生徒の成長のきっかけになっている。
- ・地域連携の過剰負担に懸念。少子化による学校改変構想に関して、地域からの助力も他地域では前例としてある。
- ・分校の生徒は、最近では本校に来ることに抵抗がなくなっている。部活動も合同で活動している。農業は実体験が大切である。農業教育が続けられる環境を維持していきたい。
- ・国際交流に飢えている生徒が多い。賀茂地区生徒へのアンケート結果から、学校間の交流に過半数の生徒が興味を持っている。東伊豆から通学生徒の交通費補助など助成があるとよい。

・賀茂地区の高校のサテライト化のグランドデザインは未定である。実質的には各校の特色を生かしながら分校化となるであろう。賀茂地区は求める人材を育てるという実践ができているという面をプラスにとらえていきたい。

8 事務局より

(1) 第2回の開催日について（案）

令和6年10月2日（水）13:30～15:30 @南伊豆分校

- ・このことを伝える

(2) 第3回の開催日について（案）

令和7年2月19日（水）14:00 @本校

- ・このことを伝える

(3) 事務連絡

- ・会議参加の報酬と交通費に関する連絡

*閉会后、樟耀祭の案内。